

# 鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和8年3月19日(木)  
感染症対策センター  
(衛生環境研究所)

## 令和8年第6週から第9週までの患者報告の状況

### 1 報告の多い疾病(急性呼吸器感染症(ARI)定点の急性呼吸器感染症を除く。)

今回(6週～9週)4週 (R8.2.2～R8.3.1)	前回(2週～5週)4週 (R8.1.5～R8.2.1)	前々回(50週～1週)4週 (R7.12.8～R8.1.4)
1 インフルエンザ (1,974) [↑903]	1 インフルエンザ (1,071)	1 インフルエンザ (3,428)
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(470) [↑200]	2 感染性胃腸炎 (333)	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(231)
3 感染性胃腸炎 (453) [↑120]	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(270)	3 感染性胃腸炎 (225)
4 新型コロナウイルス感染症 (211) [↑26]	4 新型コロナウイルス感染症 (185)	4 新型コロナウイルス感染症 (189)
5 RSウイルス感染症 (53) [↓4]	5 RSウイルス感染症 (57)	5 RSウイルス感染症 (34)
6 その他 (61) [↓35]	6 その他 (96)	6 その他 (109)
(合計 3,222)	(合計 2,012)	(合計 4,216)

※急性呼吸器感染症(ARI)定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数である。  
※[ ]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

### 2 前回との比較増減(急性呼吸器感染症(ARI)定点の急性呼吸器感染症を除く。)

増加した疾病	減少した疾病
インフルエンザ 84%	RSウイルス感染症 7%
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 74%	
感染性胃腸炎 36%	
新型コロナウイルス感染症 14%	

### 3 急性呼吸器感染症(ARI)報告数

第6週から第9週の患者報告数は、7,710件であった。

<急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスとは>

咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

なお、急性呼吸器感染症(ARI)の症例定義を満たし、さらに別の定点把握対象感染症で診断された場合、両方に報告されます。

### 4 コメント

#### 【インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症】

県内全域にインフルエンザ警報を発令しています。インフルエンザB型が流行しており、学校の臨時休業等も多発しています。また、新型コロナウイルス感染症は一定数の患者報告が続いており、集団感染事例も散発しているため、注意が必要です。手洗い、換気、場面に応じたマスク着用などの感染防止対策が有効です。咽頭痛や発熱など体調が悪い場合や陽性が判明した場合は自宅で安静に過ごし、症状に応じて医療機関を受診される際は、事前に電話連絡の上、受診しましょう。また、ワクチンは主に重症化予防に効果がありますので、接種を検討しましょう。

### 【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

県内全域に警報を発令しています。手洗い、消毒、咳エチケット等の感染予防をお願いします。また、まれに A、B、G 群等の溶血性レンサ球菌の感染によって、突発的に発症し、重い症状を引き起こし、急速に多臓器不全が進行する「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」になることがあります。主に大人が発症し、県内でも確認されています。傷口から感染する場合がありますため、小さな傷でも清潔に保ち、手足の腫れや痛み、発熱など感染の兆候が見られる場合は直ちに医療機関を受診しましょう。

### 【麻しん】

現在、県内での発生はありませんが、全国では外国での感染が疑われる事例のほか、海外渡航歴のない事例も含め、患者報告数が増加傾向となっています。発熱や眼の充血、全身の発しんなどがある場合は、事前に医療機関に連絡の上、受診しましょう。また、予防にはワクチンの2回接種が有効ですので、接種歴を確認し、2回接種が未了の場合などは接種を検討しましょう。

# 令和8年第6週～第9週の報告患者数

令和8年3月9日 作成

区 分	今回報告患者数 第6週～第9週(4週分)					前回報告患者数 第2週～第5週(4週分)				前々回報告患者数 第50週～第1週(4週分)				前回比 増 減	令和8年 患者数 累 計
	東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計		
急性呼吸器感染症(ARI)定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1 インフルエンザ	657	632	685	1,974	903	298	373	400	1,071	1,029	991	1,408	3,428	84%	3,431
2 新型コロナウイルス感染症	156	11	44	211	26	144	9	32	185	114	22	53	189	14%	428
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3 咽頭結膜熱	4	4	2	10	-8	4	8	6	18	20	8	5	33	-44%	34
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	212	47	211	470	200	135	18	117	270	141	16	74	231	74%	755
5 感染性胃腸炎	200	150	103	453	120	175	67	91	333	90	76	59	225	36%	816
6 水痘	3	6	11	20	4	3	3	10	16	0	2	15	17	25%	39
7 手足口病	3	0	4	7	4	0	0	3	3	0	0	0	0	133%	10
8 伝染性紅斑	2	1	7	10	-6	2	3	11	16	7	5	4	16	-38%	27
9 突発性発疹	1	3	3	7	-8	3	4	8	15	2	5	1	8	-53%	23
10 ヘルパンギーナ	0	0	0	0	-1	1	0	0	1	0	0	0	0	-100%	1
11 流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	-	1
12 RSウイルス感染症	30	10	13	53	-4	42	10	5	57	15	5	14	34	-7%	111
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13 急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
14 流行性角結膜炎	1	0	0	1	-1	1	0	1	2	6	0	0	6	-50%	3
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15 細菌性髄膜炎	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0%	2
16 無菌性髄膜炎	2	0	1	3	2	0	0	1	1	1	0	0	1	200%	4
17 マイコプラズマ肺炎	1	1	0	2	-21	3	17	3	23	10	13	4	27	-91%	32
18 クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0

※中部の基幹定点数は小児科定点と共通のため、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)の件数は感染性胃腸炎の内数となります。

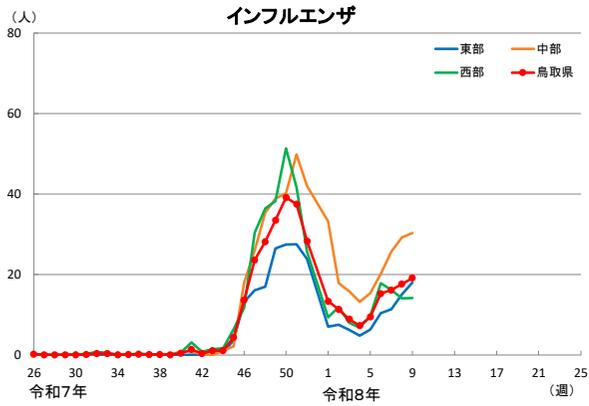
急性呼吸器感染症(ARI)定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
20 急性呼吸器感染症(ARI)	3,192	1,711	2,807	7,710	1,497	2,369	1,599	2,245	6,213	2,978	2,237	2,820	8,035	24%	14,889

※急性呼吸器感染症(ARI)の症例定義を満たし、さらに上記の他疾病で診断された場合、両方に報告されています。

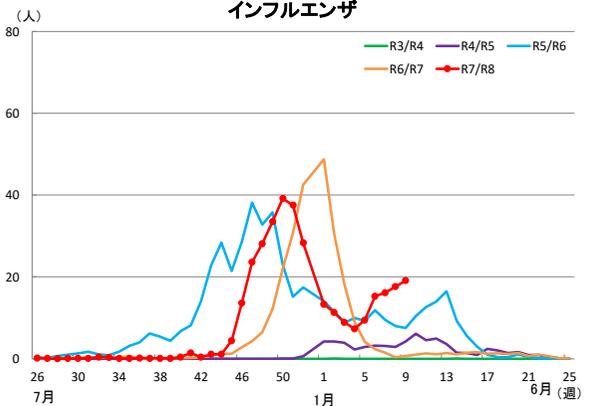
合 計	4,464	2,576	3,892	10,932	2,707	3,181	2,111	2,933	8,225	4,413	3,381	4,457	12,251	33%	20,606
-----	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-----	--------

※令和7年4月7日から急性呼吸器感染症(ARI)が追加され、「インフルエンザ/COVID-19定点」は「急性呼吸器感染症(ARI)定点」に変更されました。

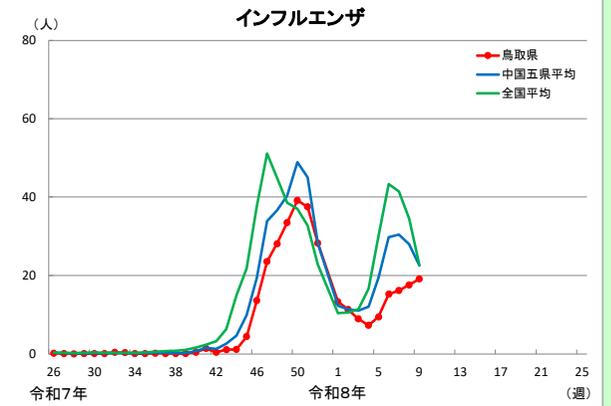
地区別発生状況(定点当たり)



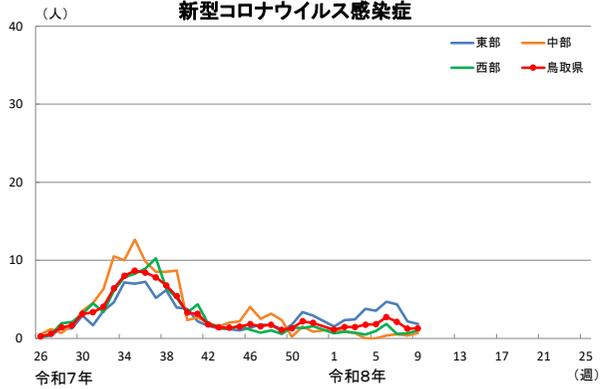
年次別発生状況(定点当たり)



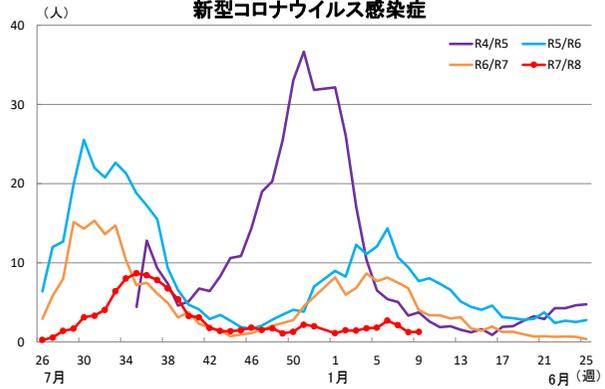
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



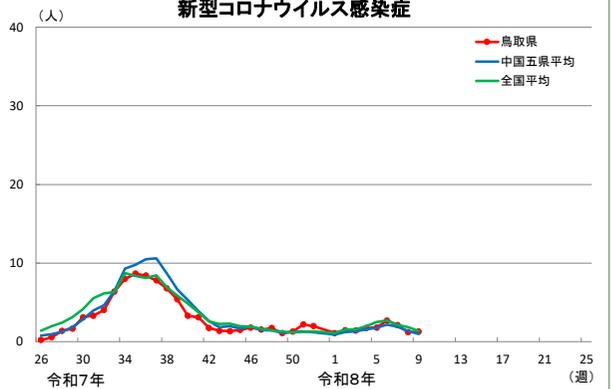
新型コロナウイルス感染症



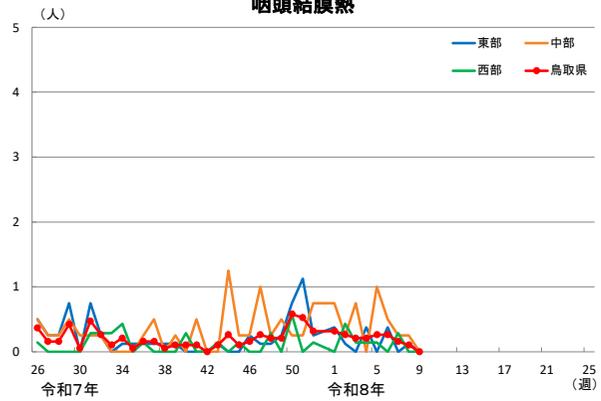
新型コロナウイルス感染症



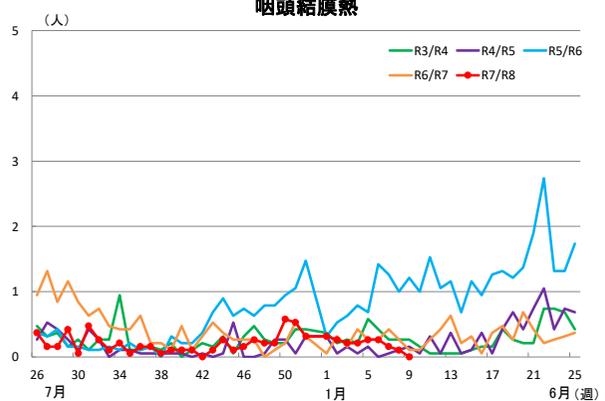
新型コロナウイルス感染症



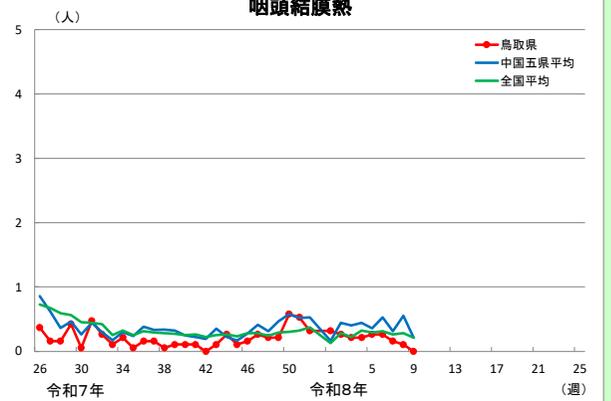
咽頭結膜熱



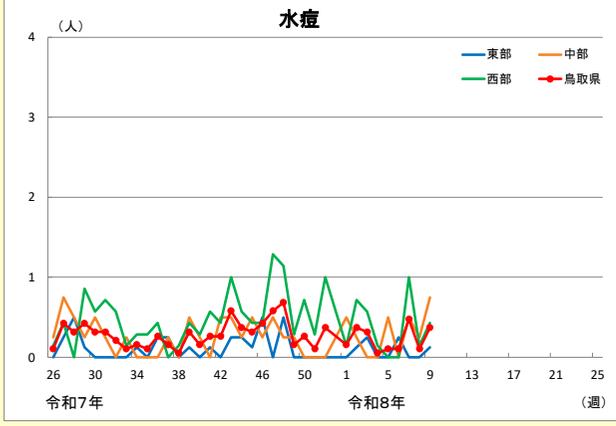
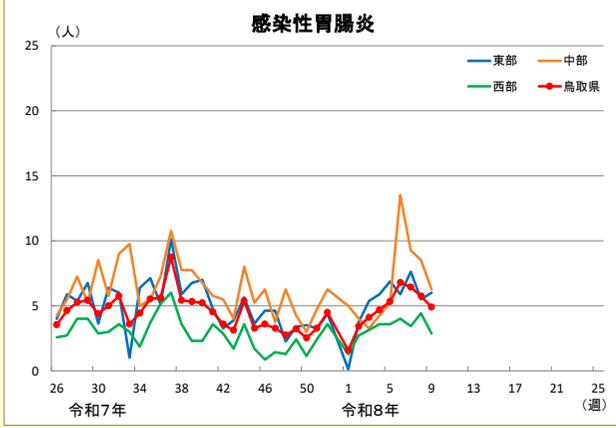
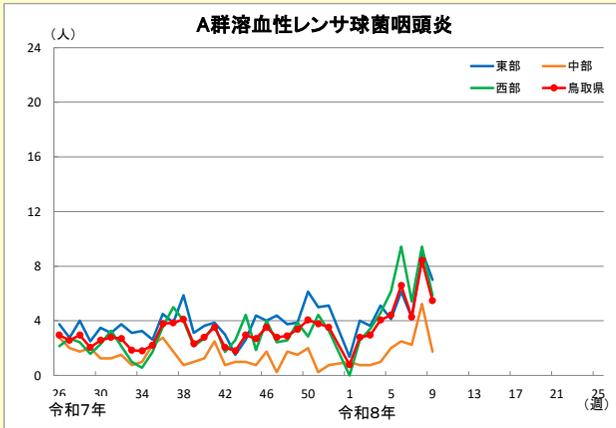
咽頭結膜熱



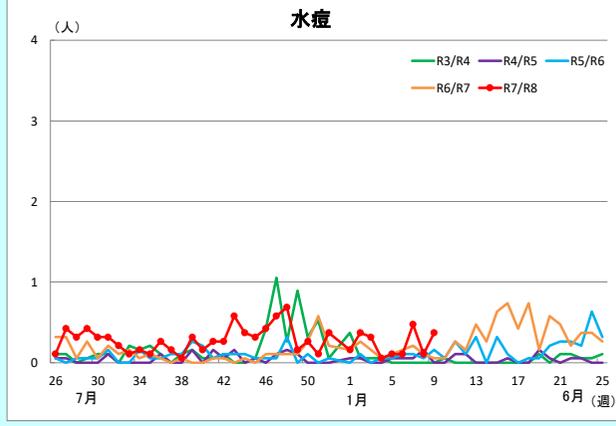
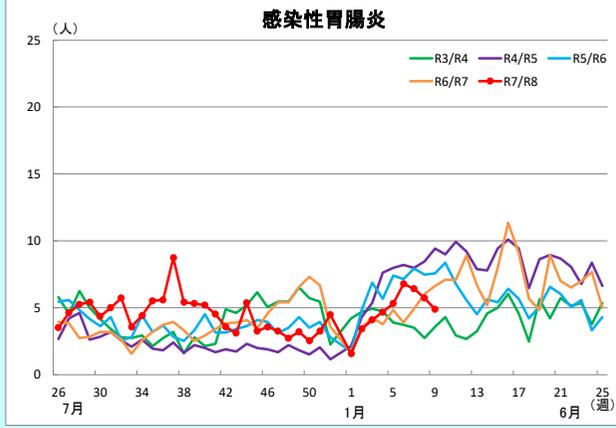
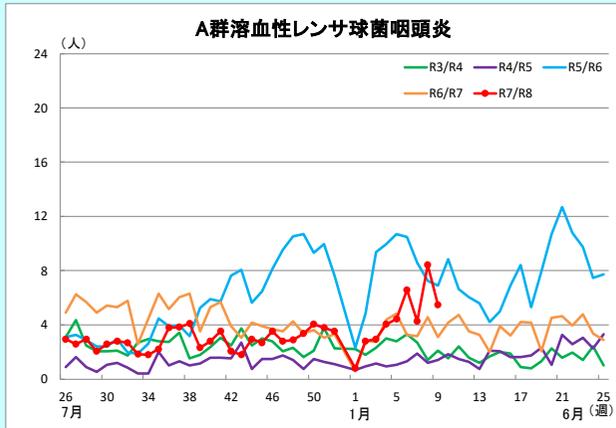
咽頭結膜熱



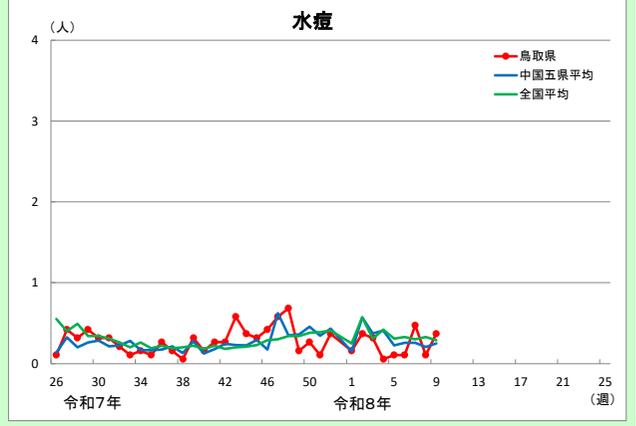
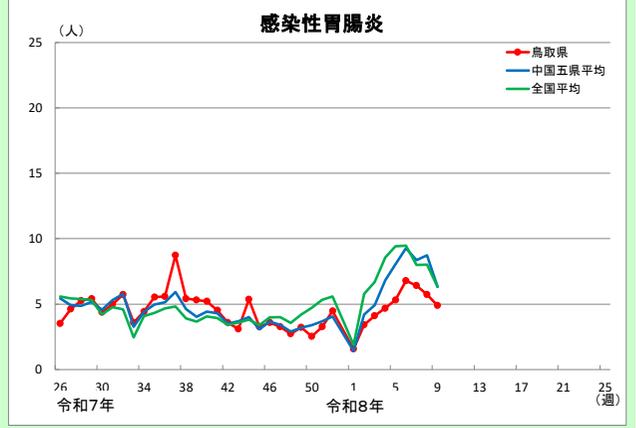
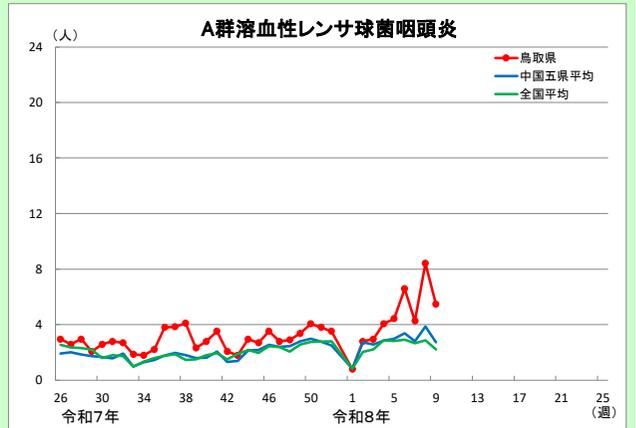
地区別発生状況(定点当たり)



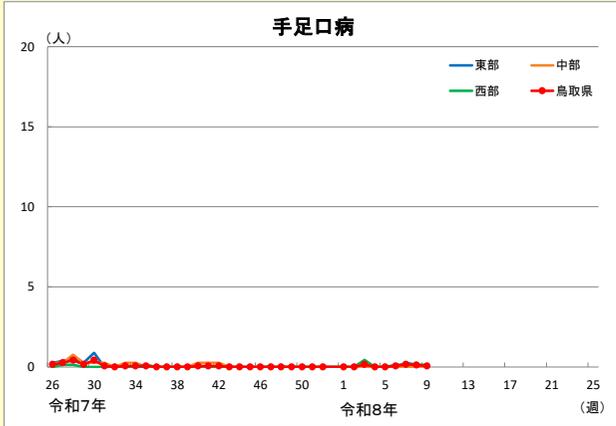
年次別発生状況(定点当たり)



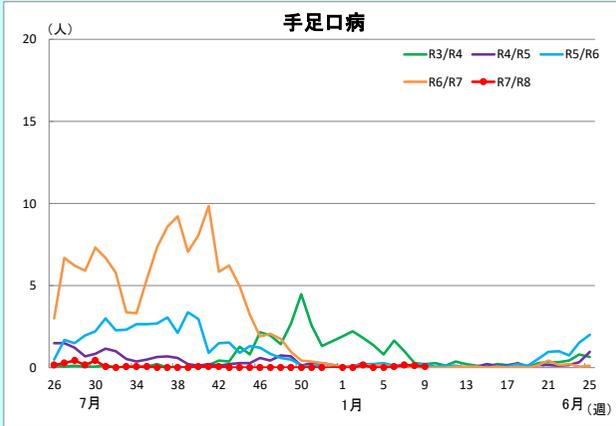
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



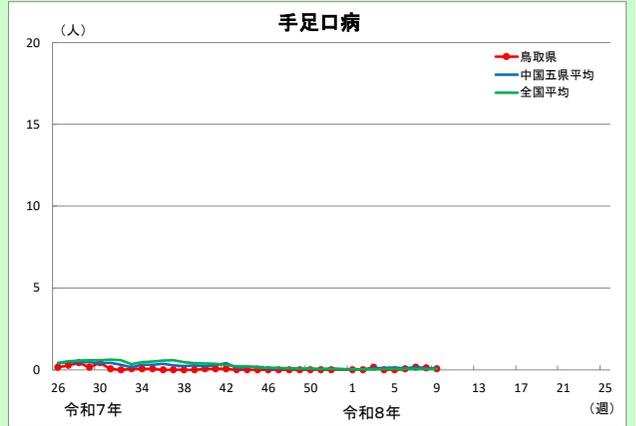
### 地区別発生状況(定点当たり)



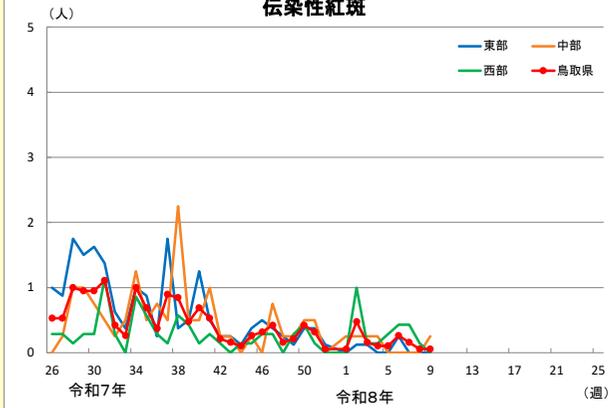
### 年次別発生状況(定点当たり)



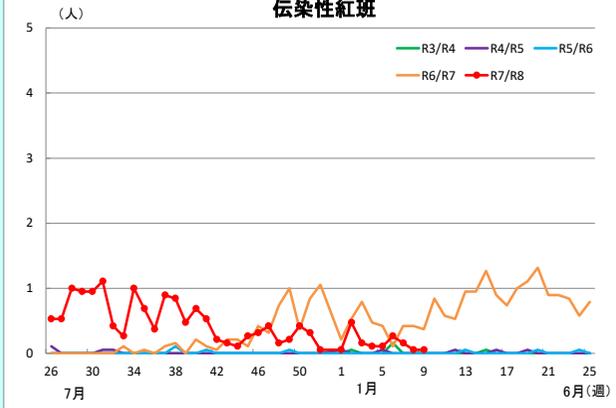
### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



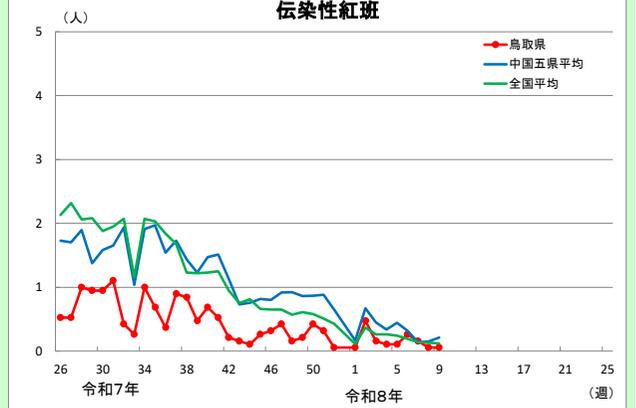
### 伝染性紅斑



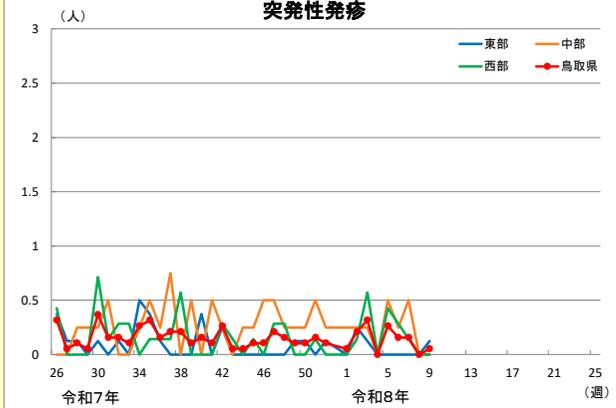
### 伝染性紅斑



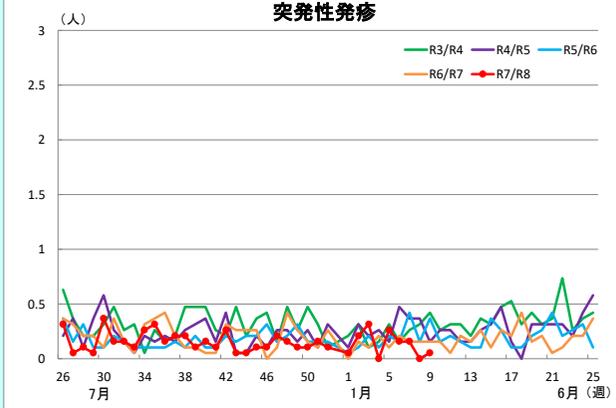
### 伝染性紅斑



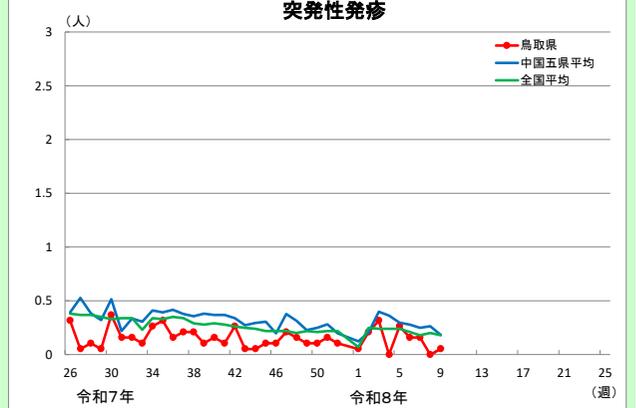
### 突発性発疹



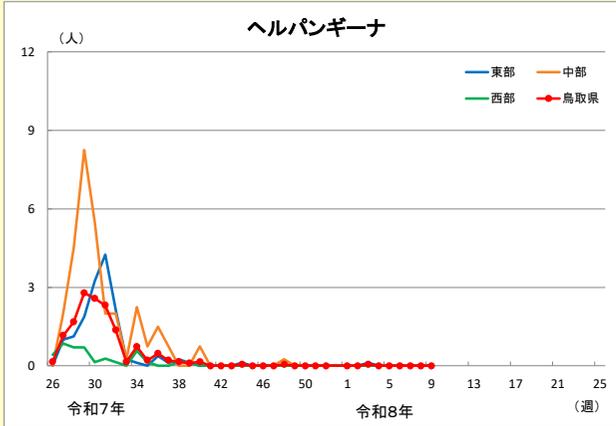
### 突発性発疹



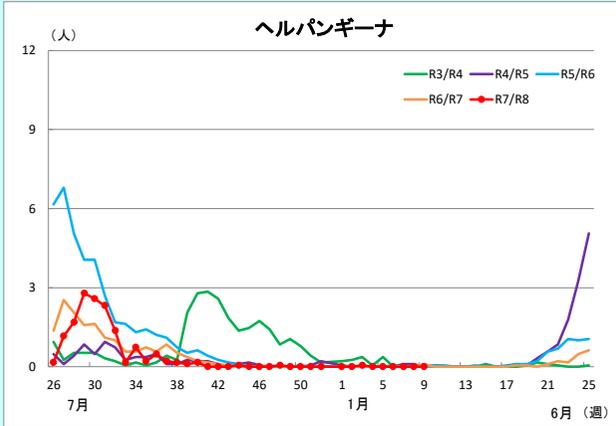
### 突発性発疹



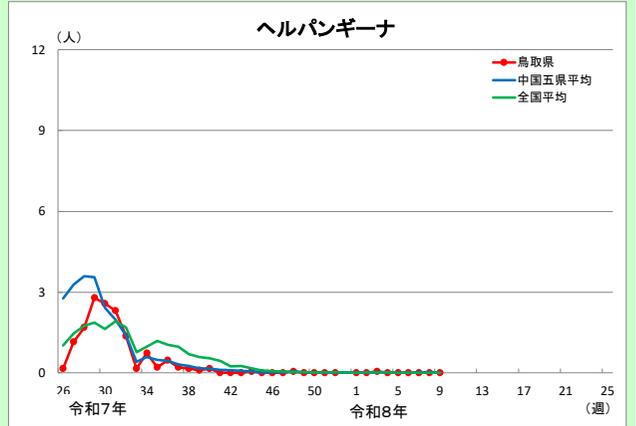
地区別発生状況(定点当たり)



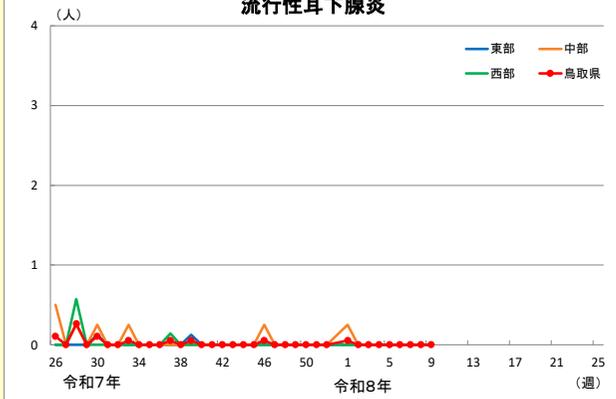
年次別発生状況(定点当たり)



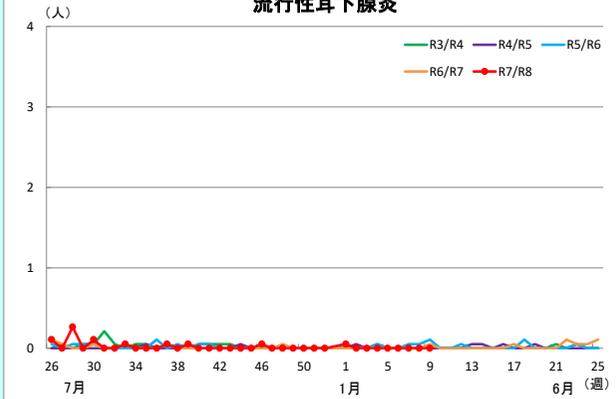
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



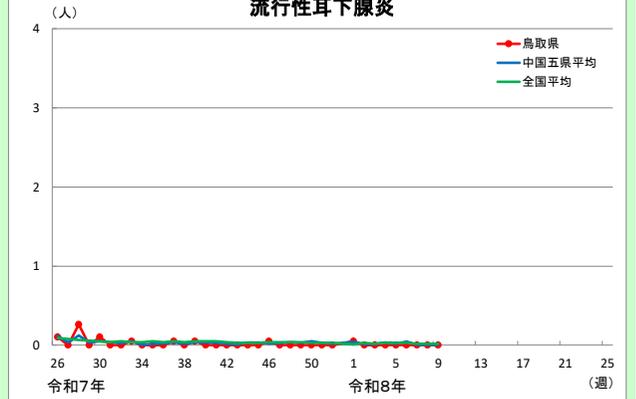
流行性耳下腺炎



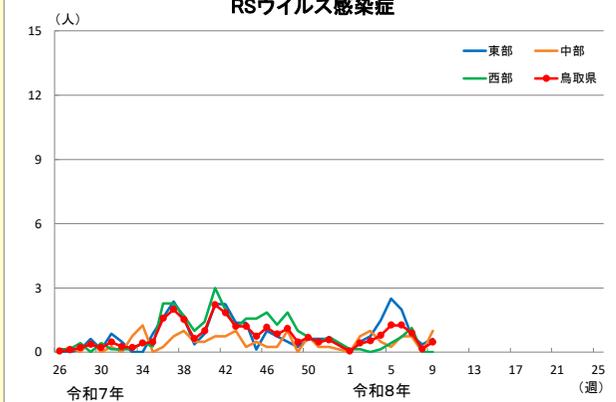
流行性耳下腺炎



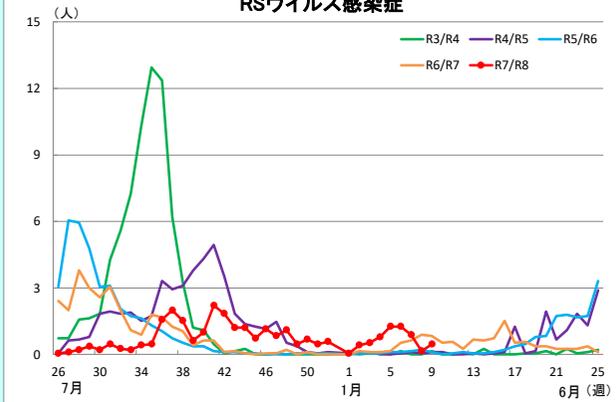
流行性耳下腺炎



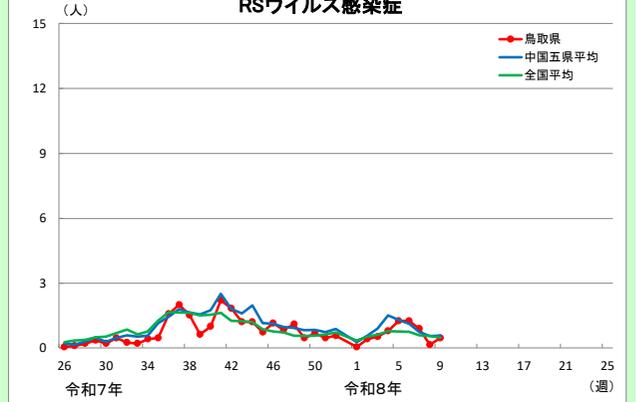
RSウイルス感染症



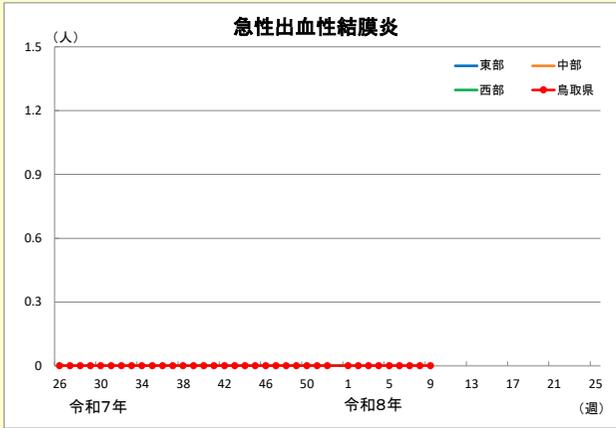
RSウイルス感染症



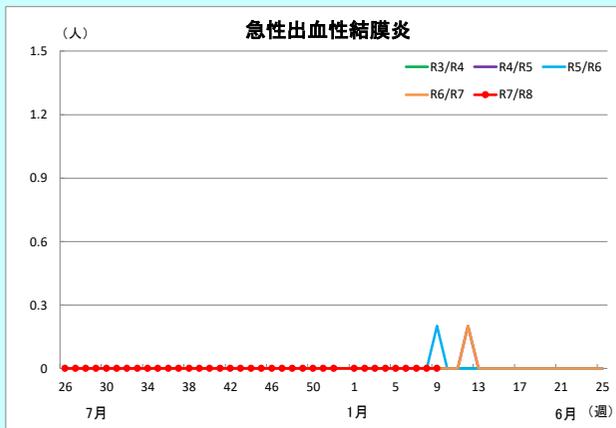
RSウイルス感染症



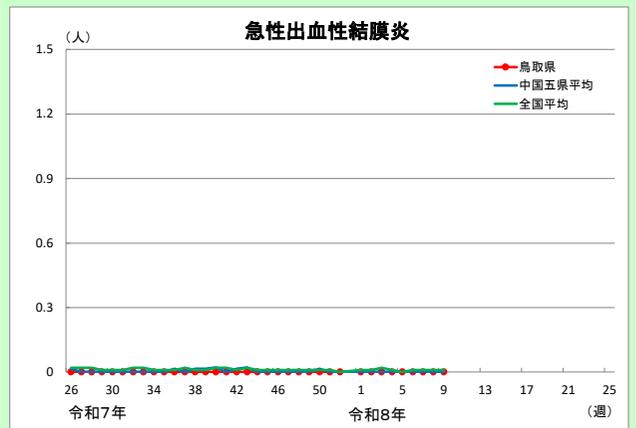
地区別発生状況(定点当たり)



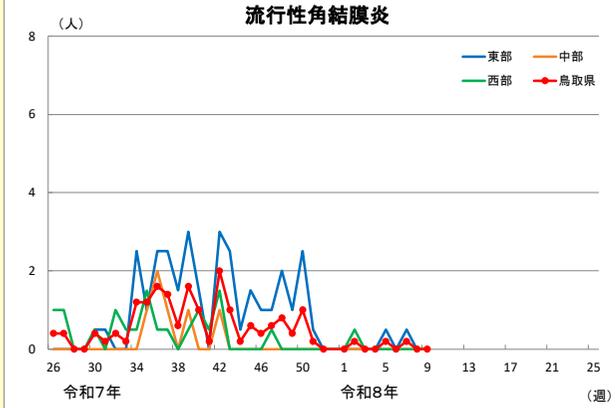
年次別発生状況(定点当たり)



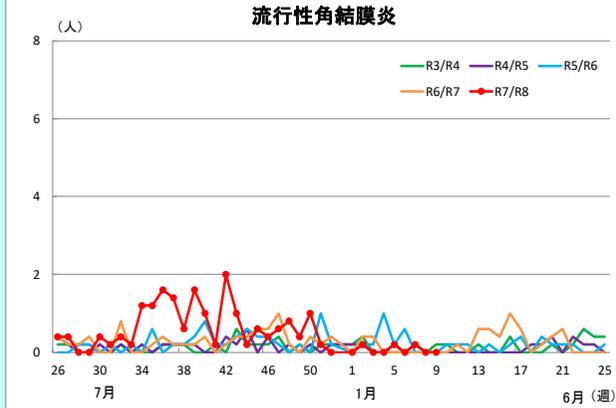
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



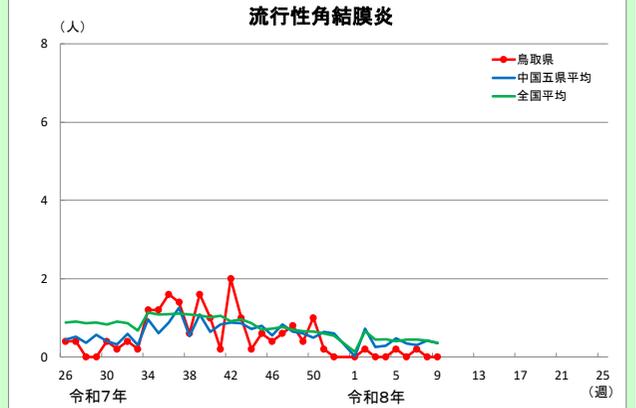
流行性角結膜炎



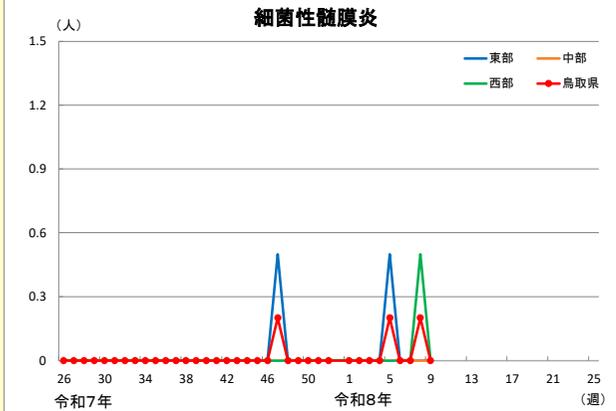
流行性角結膜炎



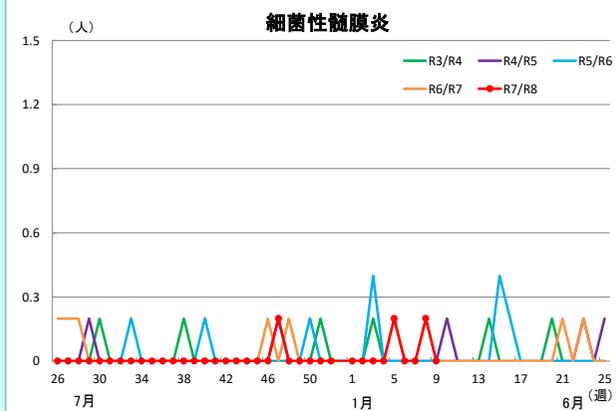
流行性角結膜炎



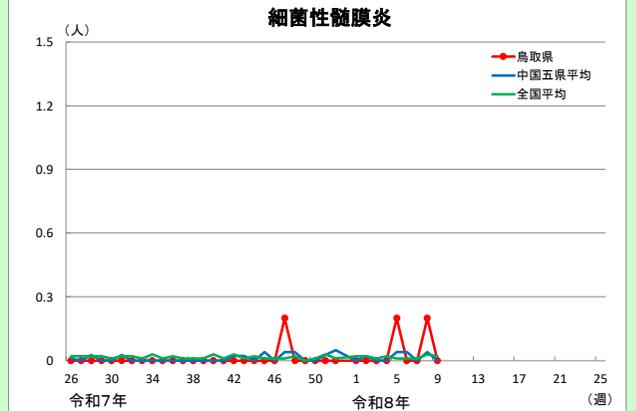
細菌性髄膜炎



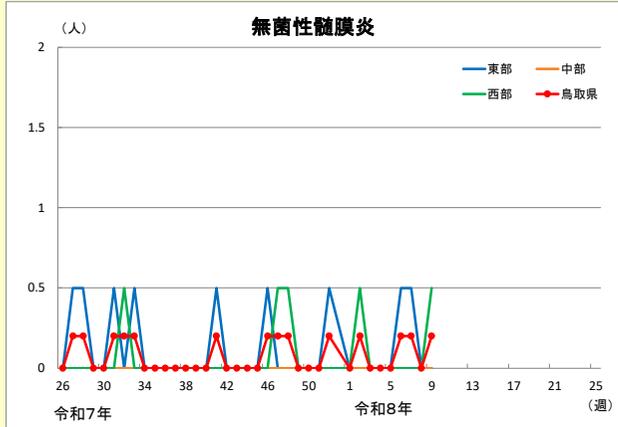
細菌性髄膜炎



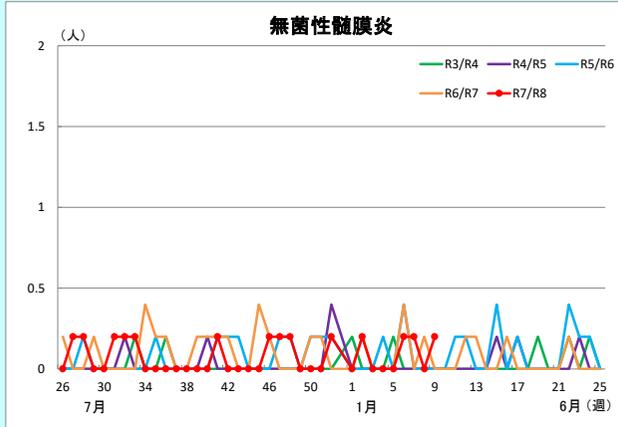
細菌性髄膜炎



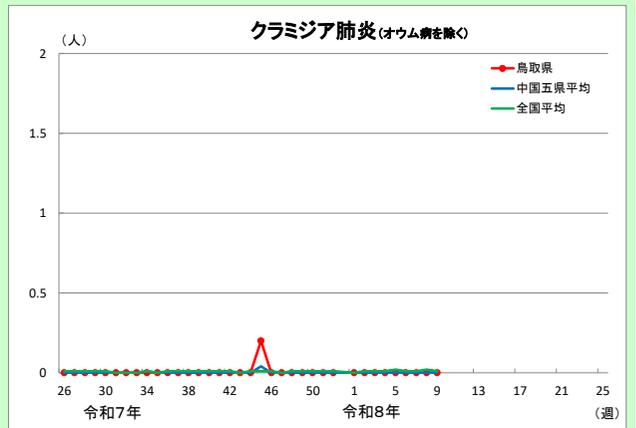
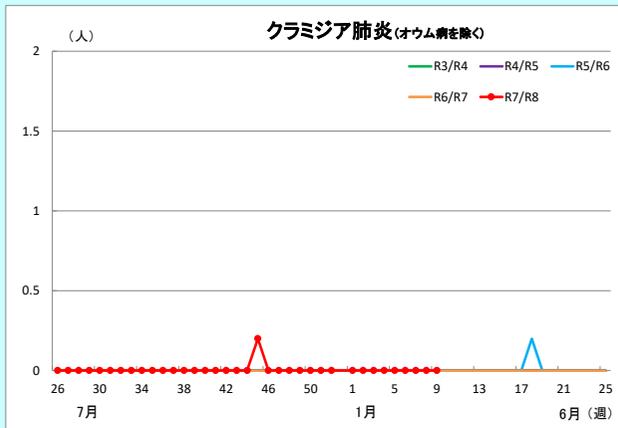
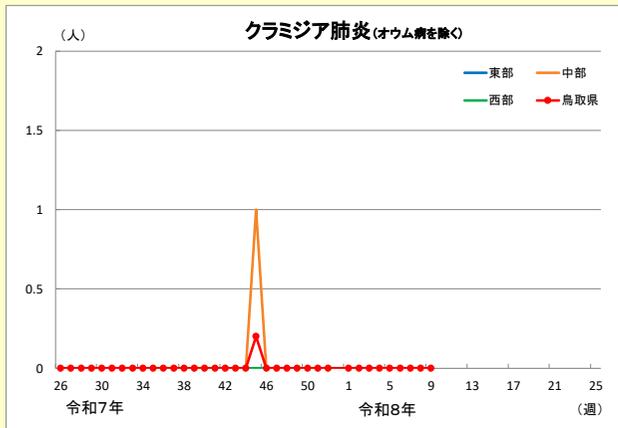
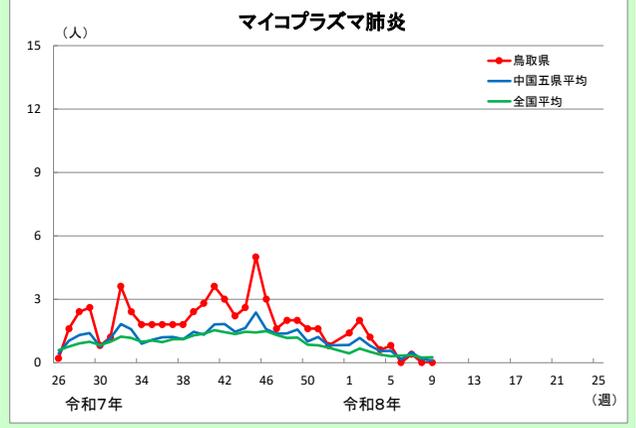
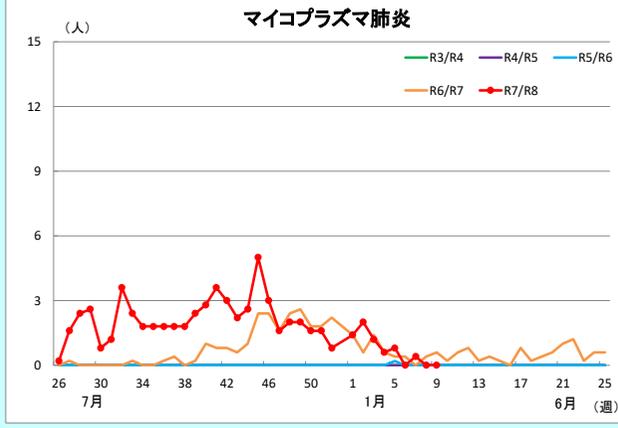
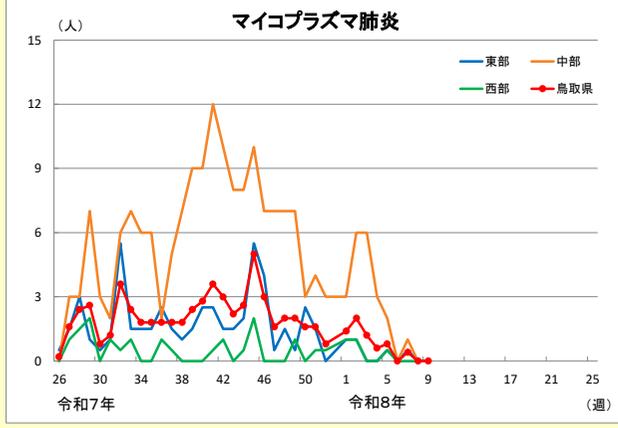
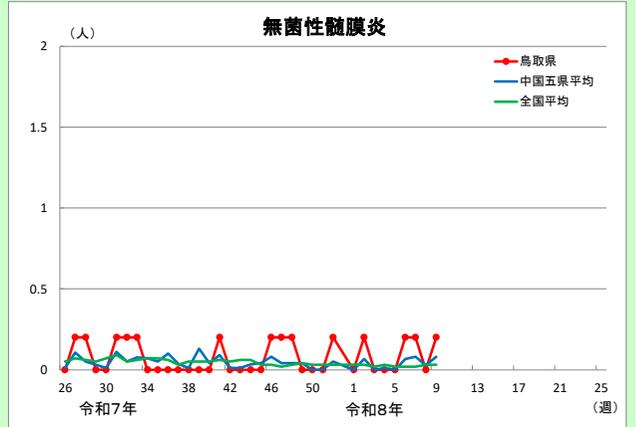
### 地区別発生状況(定点当たり)



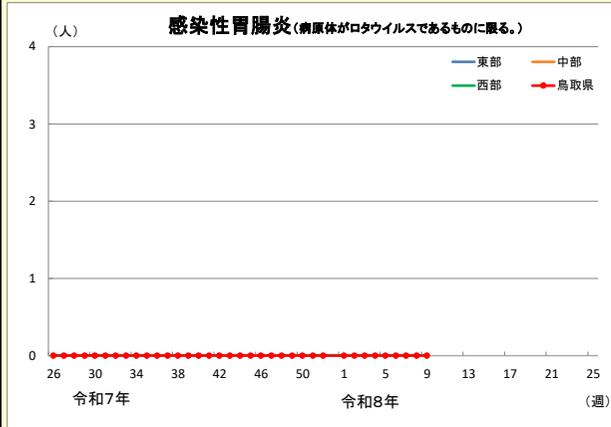
### 年次別発生状況(定点当たり)



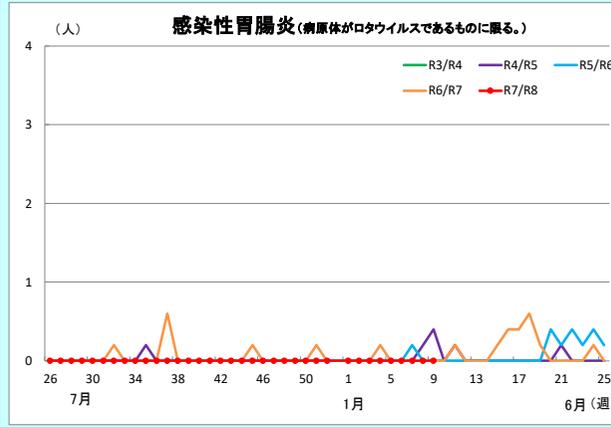
### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



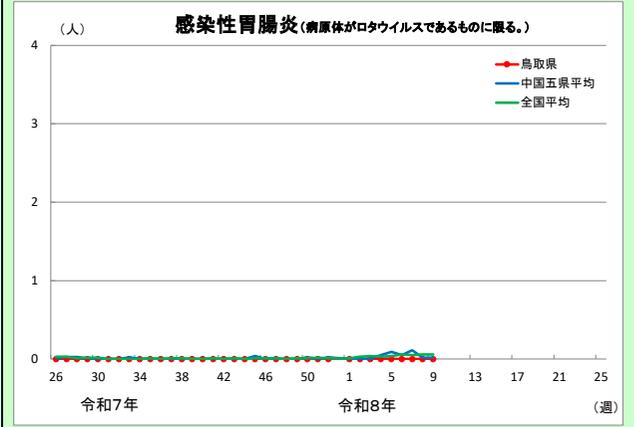
### 地区別発生状況(定点当たり)



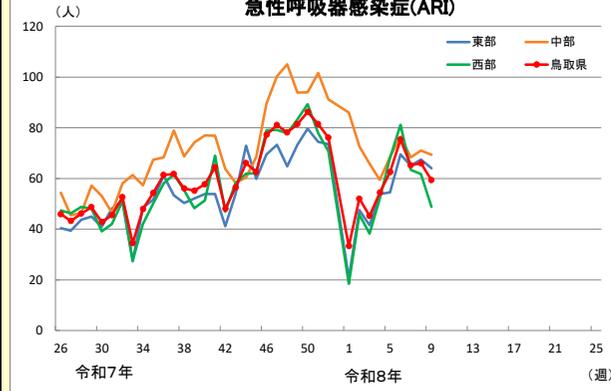
### 年次別発生状況(定点当たり)



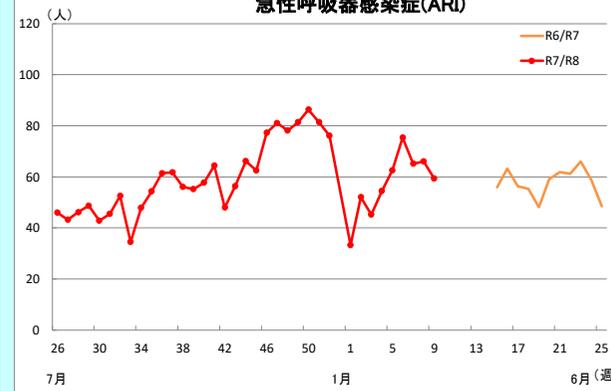
### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



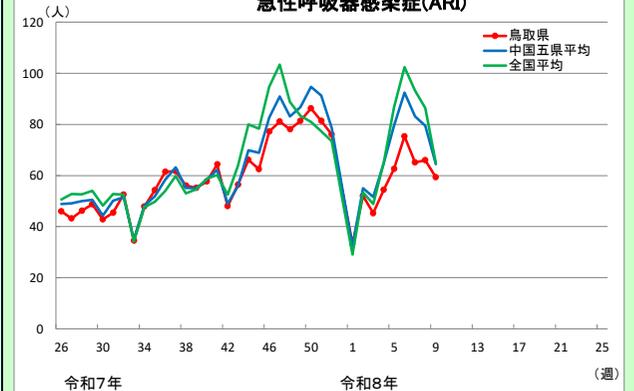
### 急性呼吸器感染症(ARI)



### 急性呼吸器感染症(ARI)



### 急性呼吸器感染症(ARI)



注) 新型コロナウイルス感染症は、令和5年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

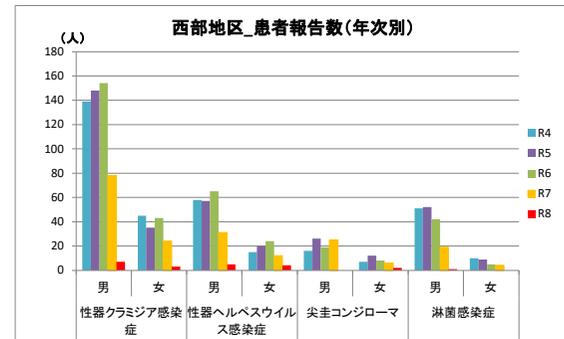
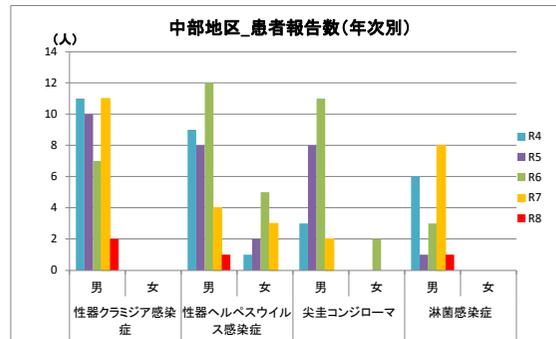
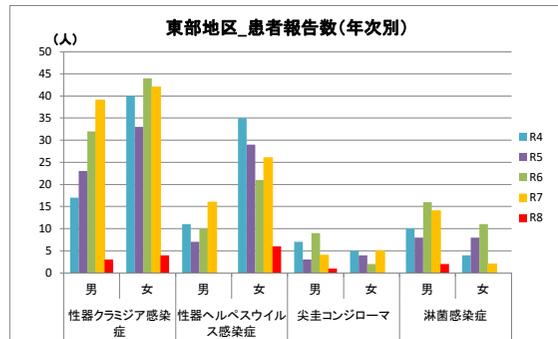
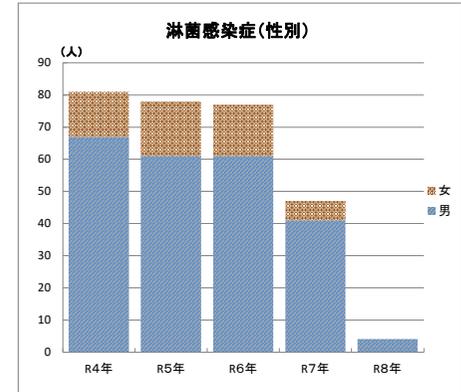
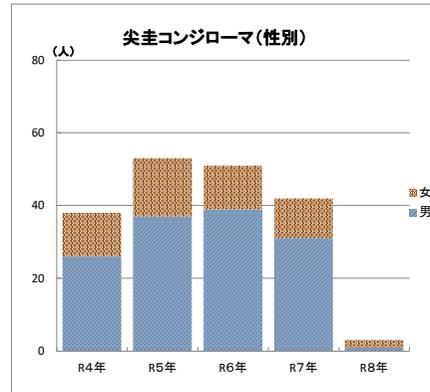
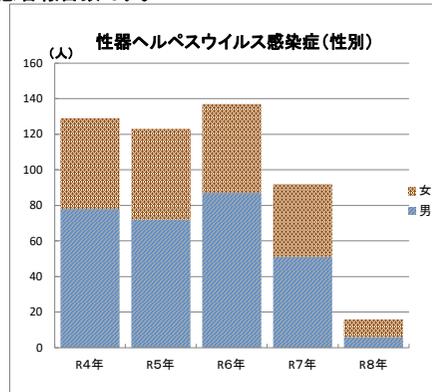
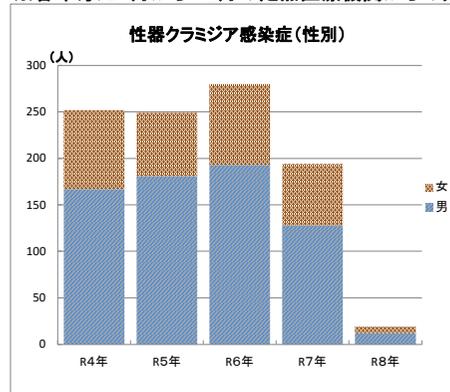
令和7年

定点数	疾病名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			12月計			対前年累計比率		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
S	性器クラミジア感染症	9	3	12	15	4	19	13	6	19	10	9	19	21	3	24	11	7	18	14	5	19	9	1	10	1	7	8	8	7	15	4	9	13	13	5	18	128	66	194	66%	76%	69%
T	性器ヘルペスウイルス感染症	7	4	11	3	2	5	2	4	6	3	4	7	7	1	8	2	4	6	6	5	11	6	1	7	3	1	4	5	5	10	4	7	11	3	3	6	51	41	92	59%	82%	67%
D	尖圭コンジローマ	0	1	1	3	1	4	4	4	8	5	3	8	3	1	4	1	0	1	4	1	5	1	0	1	5	0	5	2	0	2	0	0	0	3	0	3	31	11	42	79%	92%	82%
7	淋菌感染症	3	0	3	4	0	4	5	0	5	2	0	2	3	0	3	5	2	7	4	1	5	5	1	6	3	1	4	4	0	4	2	0	2	1	1	2	41	6	47	67%	38%	61%
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5	2	7	9	5	14	5	5	10	6	5	11	3	2	5	6	1	7	7	1	8	2	3	5	3	4	7	3	5	8	7	5	12	3	5	8	59	43	102	87%	123%	99%
5	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4	38%	—	50%
5	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	2	200%	—	200%			

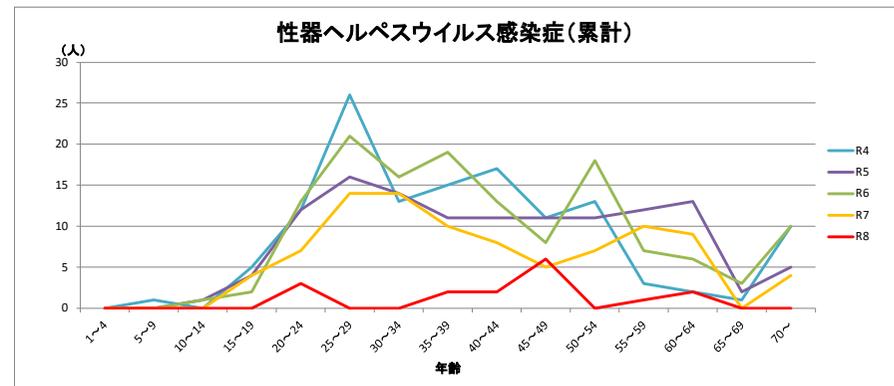
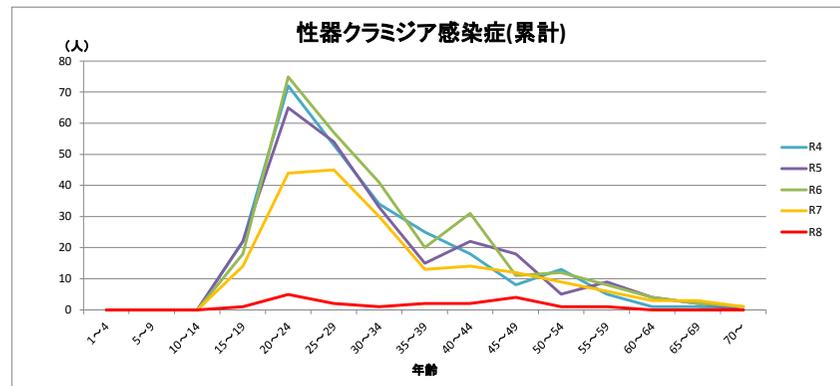
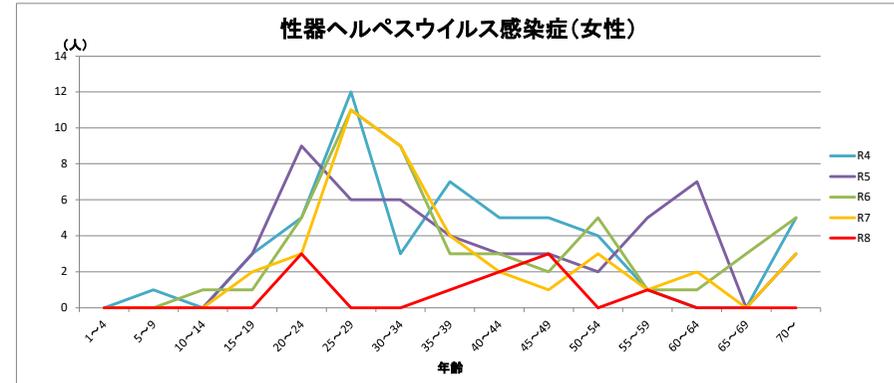
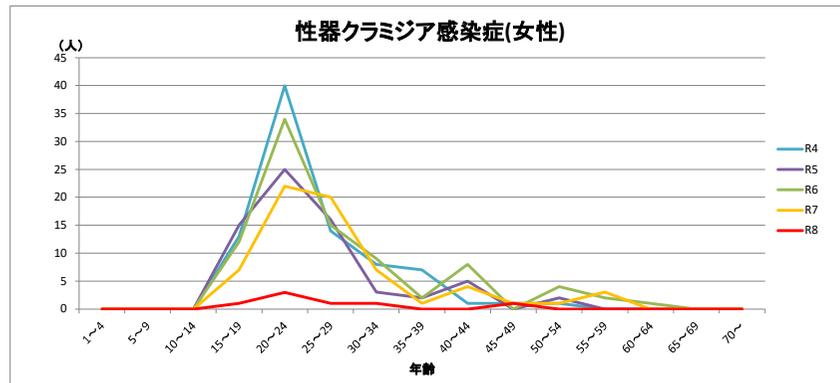
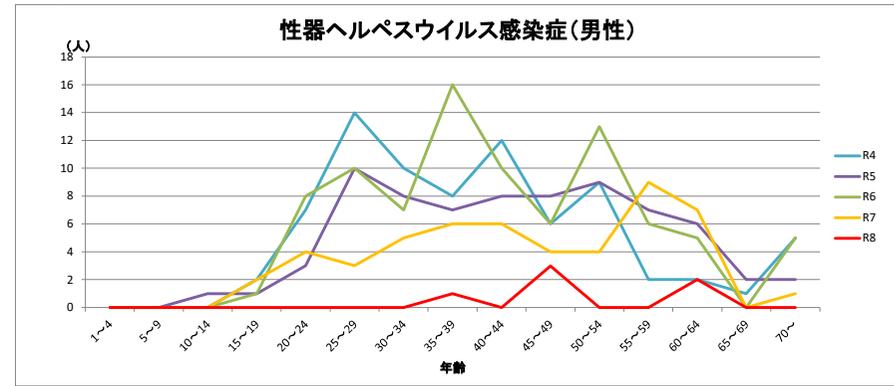
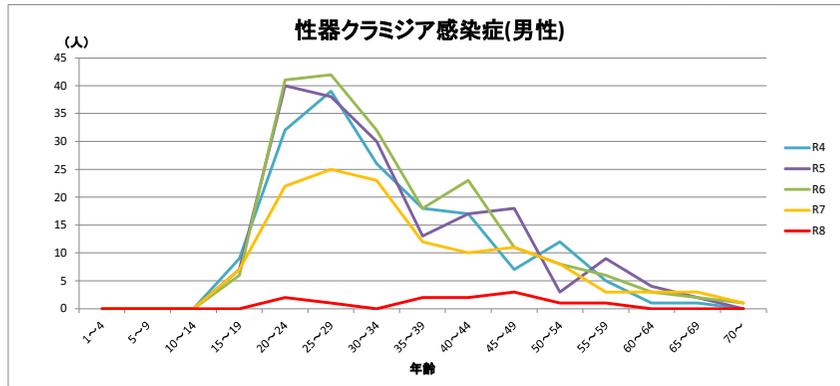
令和8年

定点数	疾病名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			2月計			対前年2月末累計比率		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
S	性器クラミジア感染症	6	5	11	6	2	8																															12	7	19	50%	100%	61%
T	性器ヘルペスウイルス感染症	2	7	9	4	3	7																															6	10	16	60%	167%	100%
D	尖圭コンジローマ	0	2	2	1	0	1																															1	2	3	33%	100%	60%
7	淋菌感染症	2	0	2	2	0	2																															4	0	4	57%	—	57%
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	9	5	14	7	2	9																															16	7	23	114%	100%	110%
5	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0																															0	0	0	0%	—	0%
5	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0																															0	0	0	—	—	—

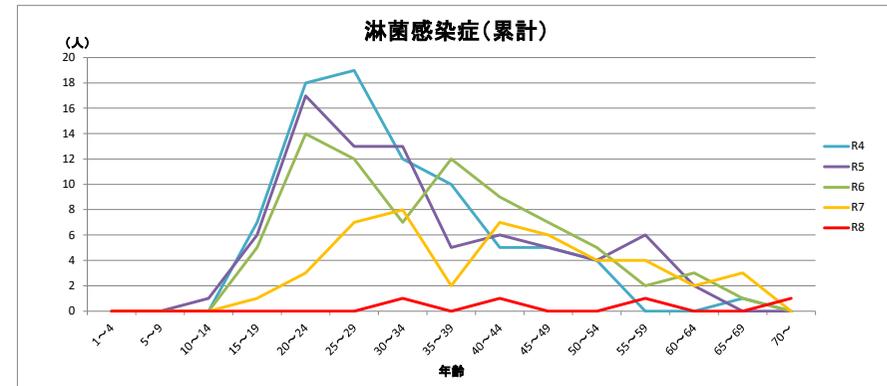
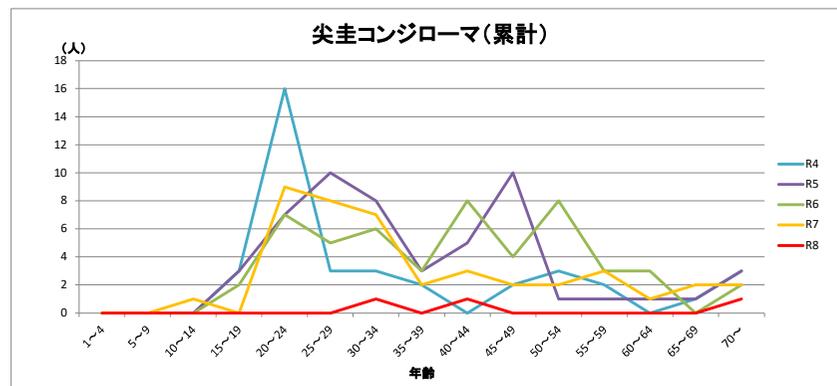
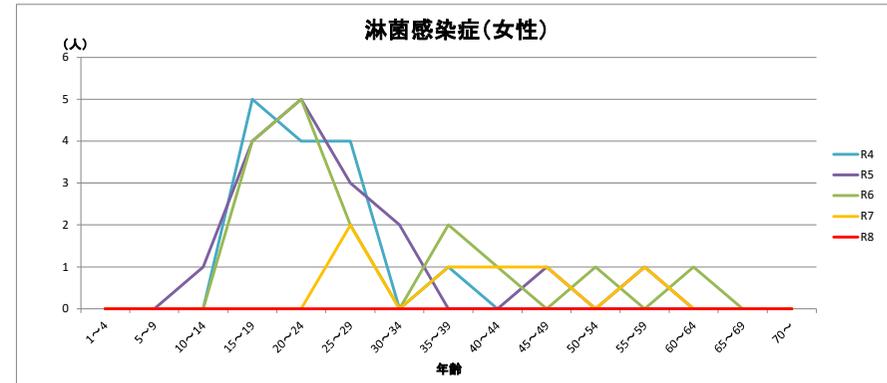
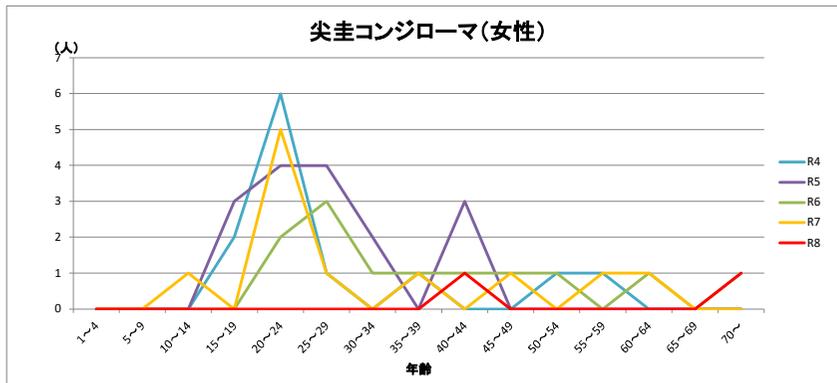
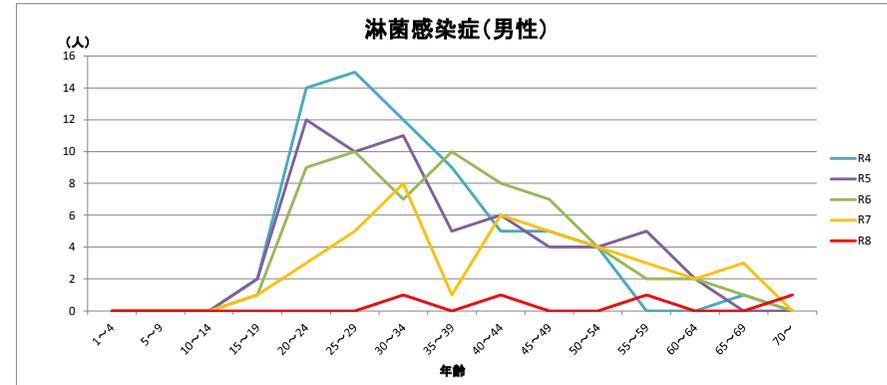
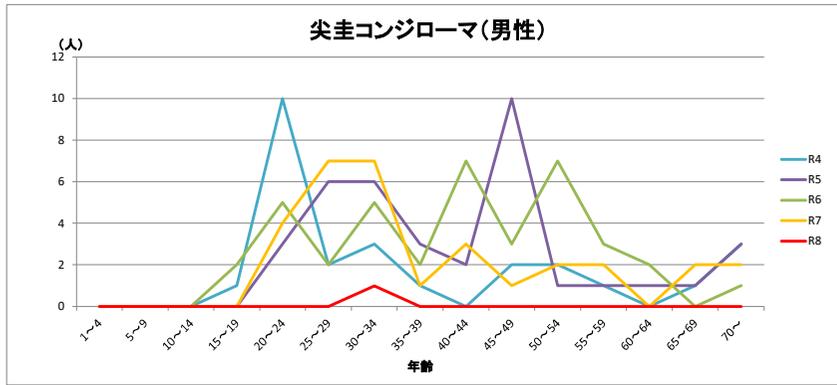
※各年毎に1月から12月の定点医療機関からの累計患者報告数です。



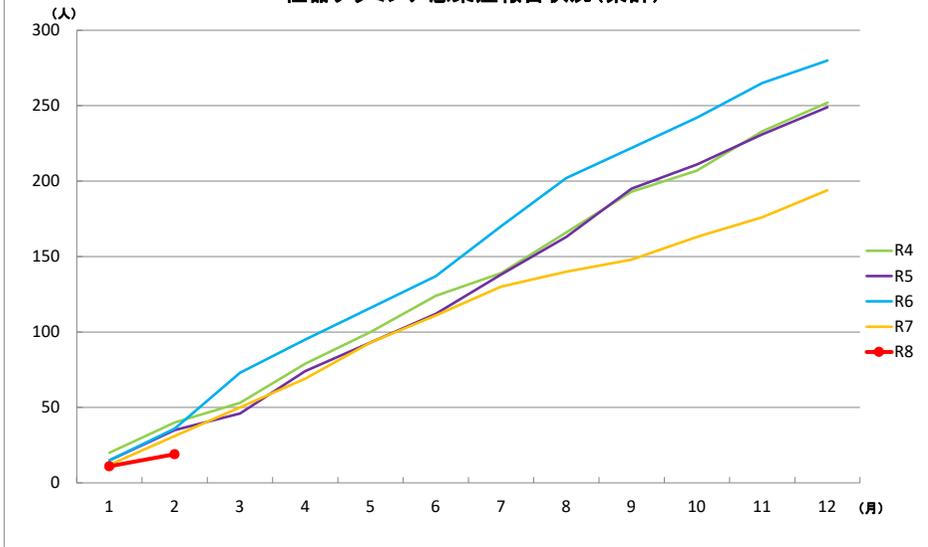
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



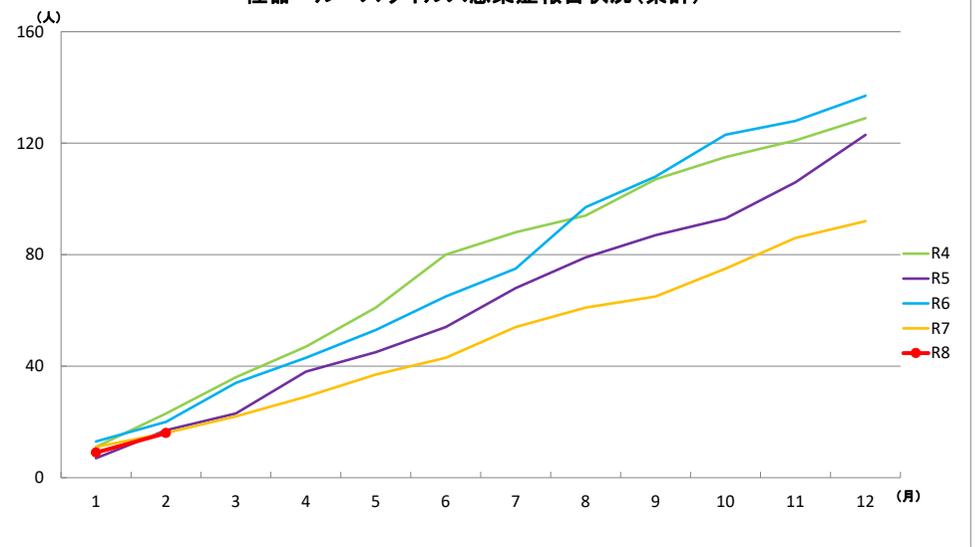
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



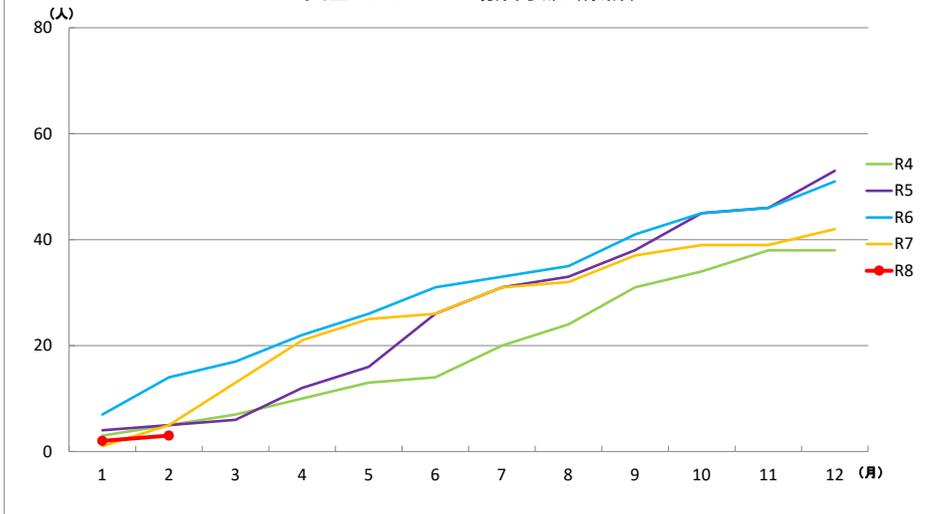
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



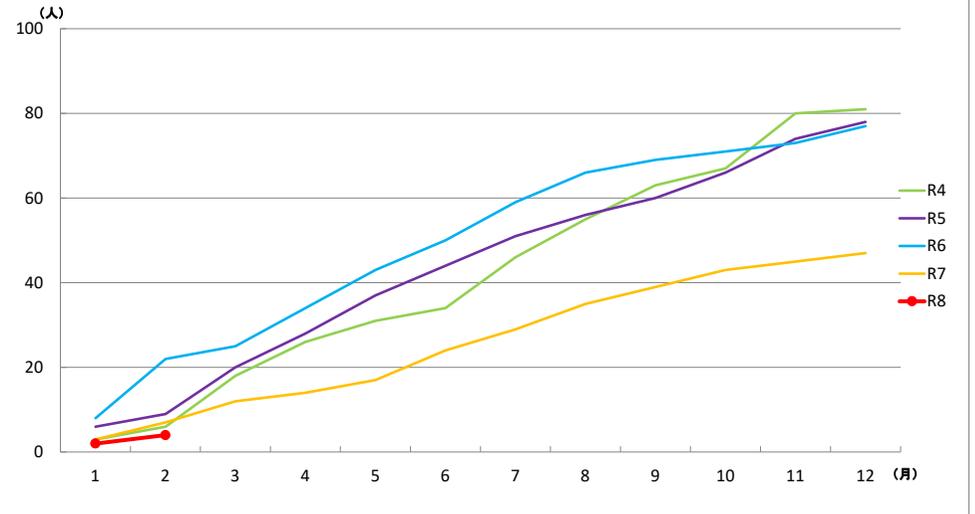
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)

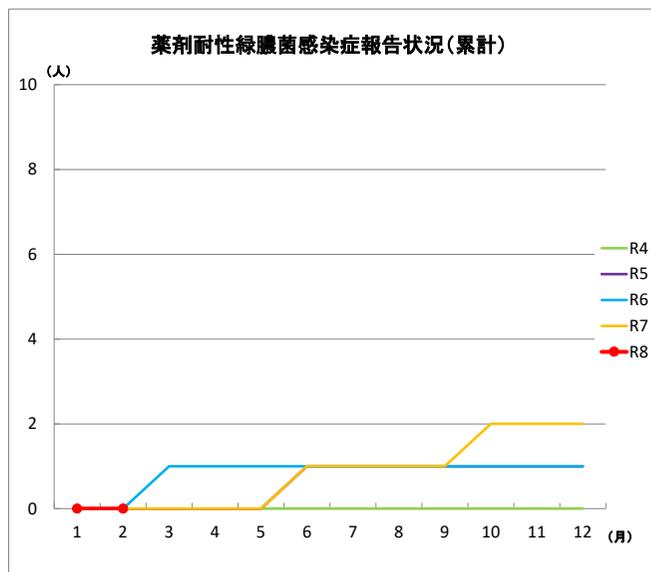
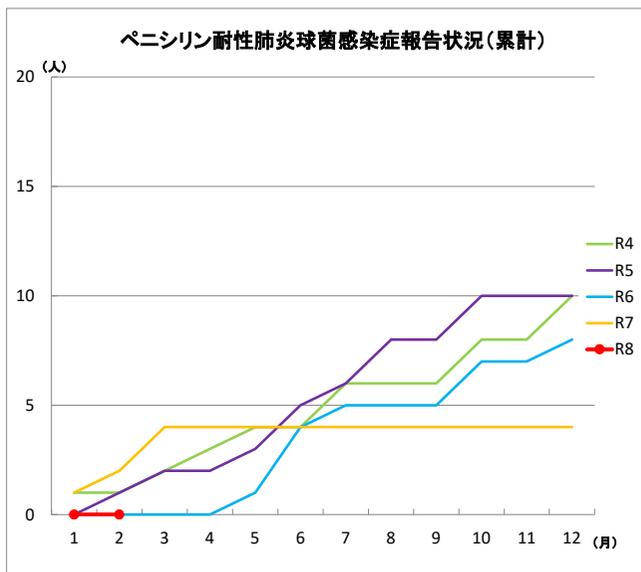
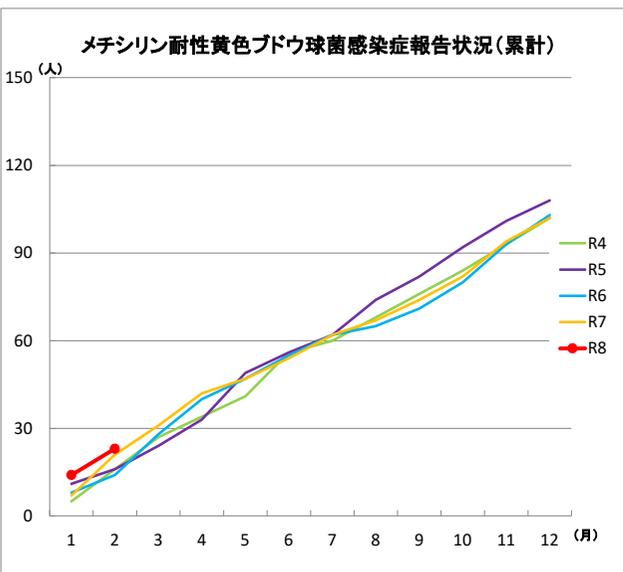
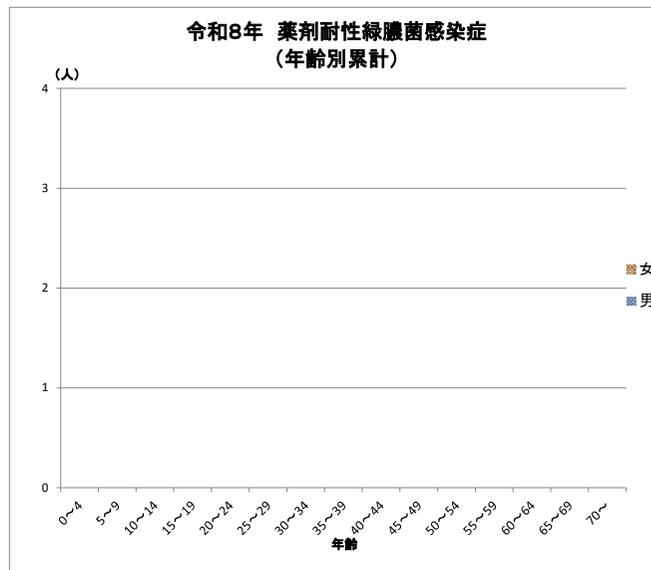
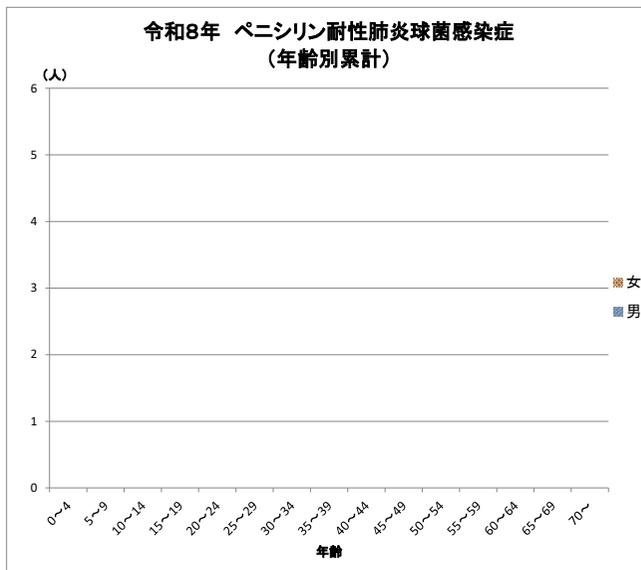
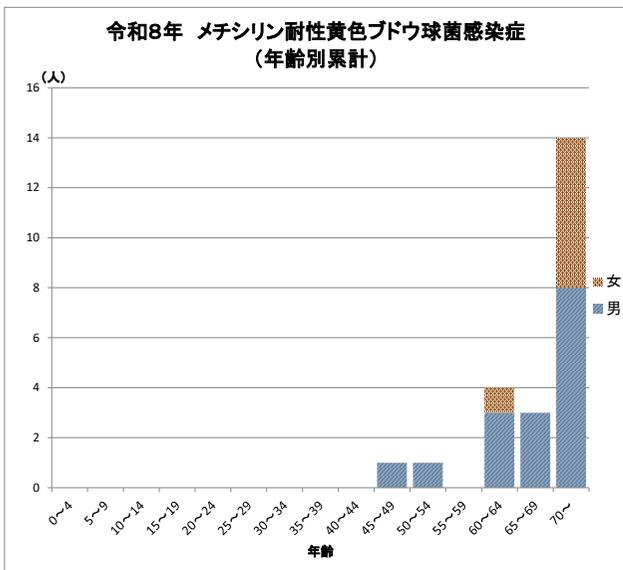


尖圭コンジローマ報告状況(累計)



淋菌感染症報告状況(累計)





# 鳥取県における感染症発生状況(全数報告分・令和8年)

令和8年2月28日 現在  
※( )は前年数値

## (1)2類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計				
													2月時点	年間			
急性灰白髄炎													0	(0)	(0)		
結核	5	(3)	1	(3)	(3)	(4)	(6)	(4)	(8)	(7)	(3)	(6)	(4)	(4)	6	(6)	(55)
潜在性結核 ※再掲	2	1			(1)				(1)	(2)	(2)		(2)	(1)	3	(0)	(9)
疑似症患者 ※再掲															0	(0)	(0)
ジフテリア															0	(0)	(0)
重症急性呼吸器症候群															0	(0)	(0)
中東呼吸器症候群															0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H5N1)															0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H7N9)															0	(0)	(0)

## (2)3類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
													2月時点	年間		
コレラ														0	(0)	(0)
疑似症 ※再掲														0	(0)	(0)
細菌性赤痢														0	(0)	(0)
腸管出血性大腸菌感染症	6	2						(1)	(2)	(24)				8	(0)	(27)
腸チフス														0	(0)	(0)
パラチフス														0	(0)	(0)

## (3)4類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
													2月時点	年間		
マラリア														0	(0)	(0)
E型肝炎						(1)								0	(0)	(1)
A型肝炎														0	(0)	(0)
つつが虫病	(1)											(1)		0	(1)	(2)
日本紅斑熱					(1)	(1)		(1)	(1)					0	(0)	(4)
重症熱性血小板減少症候群					(1)	(1)			(1)					0	(0)	(3)
レジオネラ症	2	(1)	(2)	(1)	(1)	(3)	(1)	(2)	(2)	(2)	(1)			2	(3)	(16)
レプトスピラ症														0	(0)	(0)
デング熱														0	(0)	(0)
チクングニア熱														0	(0)	(0)

## (4)5類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計				
													2月時点	年間			
アメーバ赤痢		1					(1)							1	(0)	(1)	
ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)		(1)								(1)	(1)			0	(1)	(3)	
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)														0	(0)	(0)	
急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎等を除く)	(1)	(1)	(1)					(1)			(1)	(1)		0	(2)	(6)	
クリプトスポリジウム症														0	(0)	(0)	
クロイツフェルト・ヤコブ病														0	(0)	(0)	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(1)		(1)		(1)	(1)						(1)		0	(1)	(5)	
後天性免疫不全症候群						(2)						(1)		0	(0)	(3)	
無症候性キャリア ※再掲												(1)		0	(0)	(1)	
AIDS ※再掲														0	(0)	(0)	
その他						(2)								0	(0)	(2)	
侵襲性インフルエンザ菌感染症					(1)	(1)								0	(0)	(2)	
侵襲性髄膜炎菌感染症														0	(0)	(0)	
侵襲性肺炎球菌感染症	2	(5)	1	(1)	(1)	(3)		(2)	(2)			(2)	(1)	3	(6)	(17)	
水痘(入院例に限る。)	1													1	(0)	(0)	
梅毒	4	(9)	1	(2)	(2)	(3)		(5)	(1)	(6)	(1)	(2)	(2)	5	(11)	(33)	
播種性クリプトコックス症	(1)	1	(1)	(1)										1	(2)	(3)	
破傷風														0	(0)	(0)	
薬剤耐性アシネトバクター感染症														0	(0)	(0)	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		1												1	(0)	(0)	
ジアルジア症														0	(0)	(0)	
百日咳	7	(28)	2	(44)	(74)	(120)	(98)	(100)	(104)	(47)	(39)	(14)	(14)	(4)	9	(72)	(686)
麻疹					(1)									0	(0)	(1)	
風しん														0	(0)	(0)	

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
													2月時点	年間
令和8年	6 (4)	2 (1)											8 (5)	8 (5)
令和7年							1 (1)	2	24 (2)				27 (3)	27 (3)
令和6年		1	1		5 (2)	2 (1)	1 (1)	3	1 (1)	3 (1)	3	1	21 (6)	21 (6)
令和5年						1		5	9 (3)	2 (2)		2 (1)	19 (6)	19 (6)
令和4年		2 (2)				1	2	3			3 (1)	3	14 (3)	14 (3)
令和3年	1		3 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)						10 (6)	10 (6)
令和2年			1		2 (1)	7 (1)	2	3 (2)	7 (4)	3 (1)		1	26 (9)	26 (9)
令和元年		1	1 (1)		6 (1)	1	2		4 (1)	3 (2)	4	2 (2)	24 (7)	24 (7)
平成30年					3	1	4 (2)	9	4	1			22 (2)	22 (2)
平成29年	1 (1)			1	1 (1)	7 (3)	5 (2)	1			4 (3)	1 (1)	21 (11)	21 (11)

② 血清型別件数

区分	O8	O26	O29	O55	O103	O111	O125	O128	O145	O146	O148	O157	型不明	計
令和8年					2 (1)						1 (1)	3 (1)	2 (2)	8 (5)
令和7年					1 (1)							25 (1)	1 (1)	27 (3)
令和6年		1		2 (2)		2				1 (1)		13 (1)	2 (2)	21 (6)
令和5年		1 (1)										17 (4)	1 (1)	19 (6)
令和4年					3					2 (2)		8	1 (1)	14 (3)
令和3年					4 (2)					1 (1)		3 (1)	2 (2)	10 (6)
令和2年	1	4 (2)	1		4 (2)	3 (1)	1 (1)	1		1 (1)		7	3 (2)	26 (9)
令和元年					3 (1)	4 (1)						15 (3)	2 (2)	24 (7)
平成30年		2			3				1			16 (2)		22 (2)
平成29年		1			2 (1)	4 (3)				1 (1)		10 (3)	3 (3)	21 (11)

③ 年齢別件数

区分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
令和8年	2 (1)			1 (1)	2 (1)		1 (1)	1	1 (1)			8 (5)
令和7年			2	3	9	3 (1)	3 (1)	4	2	1 (1)		27 (3)
令和6年	3	3	1	3 (2)	5 (1)		2 (1)	1 (1)	2 (1)	1		21 (6)
令和5年	1	2 (1)	1	1	4 (1)	2 (1)	4 (3)	2			2	19 (6)
令和4年	5	1	2	1	1	2 (1)				2 (2)		14 (3)
令和3年	1		1 (1)		1 (1)			1 (1)	1 (1)	3 (2)	2	10 (6)
令和2年	7	2	2	2	1 (1)	4 (4)	3 (1)	3 (3)			2	26 (9)
令和元年	9 (2)	2			4 (3)	2		1 (1)	3 (1)	3		24 (7)
平成30年	2	2			10 (1)	3 (1)	1	2	1		1	22 (2)
平成29年	3 (1)	1	2 (1)	2 (1)		2 (2)	2 (2)	4 (3)	4 (1)		1	21 (11)

④ 地区別件数

区分	東部地区	中部地区	西部地区	計
令和8年			8 (5)	8 (5)
令和7年	2	4 (1)	21 (2)	27 (3)
令和6年	2 (1)	6	13 (5)	21 (6)
令和5年	3 (1)	7 (1)	9 (4)	19 (6)
令和4年	5 (1)	6	3 (2)	14 (3)
令和3年	4 (2)	3 (2)	3 (2)	10 (6)
令和2年	3	15 (5)	8 (4)	26 (9)
令和元年	6 (2)	14 (3)	4 (1)	24 (6)
平成30年	7	5	10 (2)	22 (2)
平成29年	1	8 (4)	12 (7)	21 (11)

# 鳥取県病原微生物検出情報

(令和8年2月検出分 検体採取 令和8年1月及び2月)

令和8年3月日  
鳥取県衛生環境研究所

## 1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体 57 件について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

### ○検査対象（ウイルス）

ライノ、メタニューモ、インフルエンザ-A 型及び B 型、パラインフルエンザ 1-4、RS-A 型及び B 型、ボカ、SARS-CoV-2、エンテロ、アデノ、コロナ NL63、コロナ OC43

### ○検査対象（細菌）

マイコプラズマ

### ○検出結果

57 件中 45 検体（79%）から上記対象病原体が検出された。内訳は、ライノ：20 件、ボカ：3 件、RS-A 型：1 件、RS-B 型：3 件、SARS-CoV-2：7 件、アデノ：2 件、インフルエンザ A 型：2 件、インフルエンザ B 型：2 件、コロナ NL63：3 件、コロナ OC43：10 件、マイコプラズマ：1 件であった。令和7年4月から令和8年2月検出分と合わせた年齢別検出数は表1のとおり（ただし、検出件数は重複検出を含む。）。

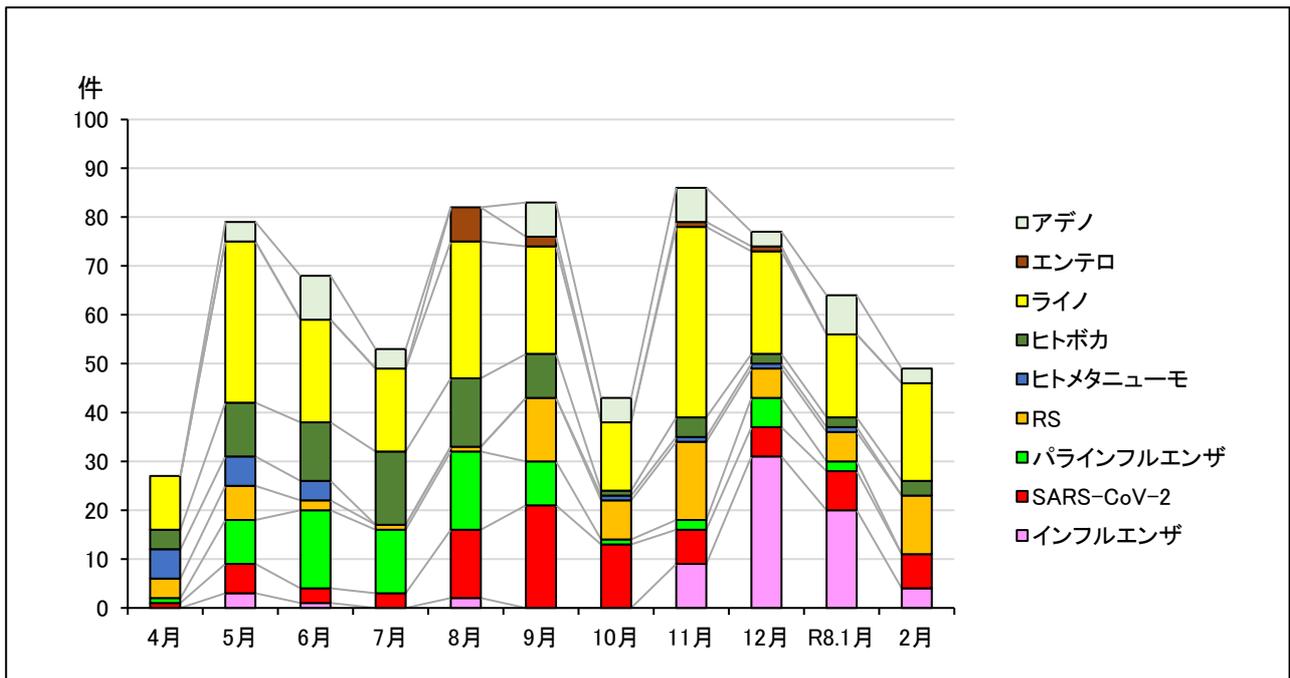
表 1. 急性呼吸器感染症の病原体、年齢別検出件数（令和7年4月～令和8年2月検出分）

年齢	病原体年齢別検出数（2月検出数/累積）														合計	
	0-4		5-9		10-19		20-39		40-59		60-79		80≦			
標本数	24	283	1	42	2	16	7	61	5	102	11	135	7	61	57	700
ライノ	15	169		15		6	2	18	1	19	2	14		2	20	243
ボカ	3	72		1				1				2		1	3	77
ヒトメタニューモ		12								2		6				20
RS-A	1	6								1		3			1	10
RS-B		17		2				1		4	1	8	2	9	3	41
SARS-CoV-2	1	13		1		1		6	1	15	2	34	3	19	7	89
パラインフルエンザ 1		1								1		2				4
パラインフルエンザ 2		7		3								2				12
パラインフルエンザ 3		16								6		6		5		33
パラインフルエンザ 4		21		2						1		2		1		27
アデノ	2	30		2				3							2	35
エンテロ		11														11
インフルエンザ A 型		16		5		4	2	9		12		10		4	2	60
インフルエンザ B 型	1	2	1	1		2		3		1		1			2	10
コロナ NL63 <sup>※1</sup>		10							2	2	1	2			3	14
コロナ OC43 <sup>※2</sup>	5	7					2	2	1	2	2	2			10	13
マイコプラズマ <sup>※1</sup>		9		1		1	1	6		3		1			1	21
検出せず	3	22		11	2	4	1	20		34	4	45	2	20	12	156

※1 5月21日搬入検体分より実施

※2 10月1日搬入検体分より実施

図 1. 月別主要ウイルス検出状況（令和 7 年 4 月～令和 8 年 2 月検出分）



アデノウイルス 2 件はすべて C 種 2 型であった。アデノウイルス C 種 2 型は急性呼吸器感染症の原因となるウイルスである。

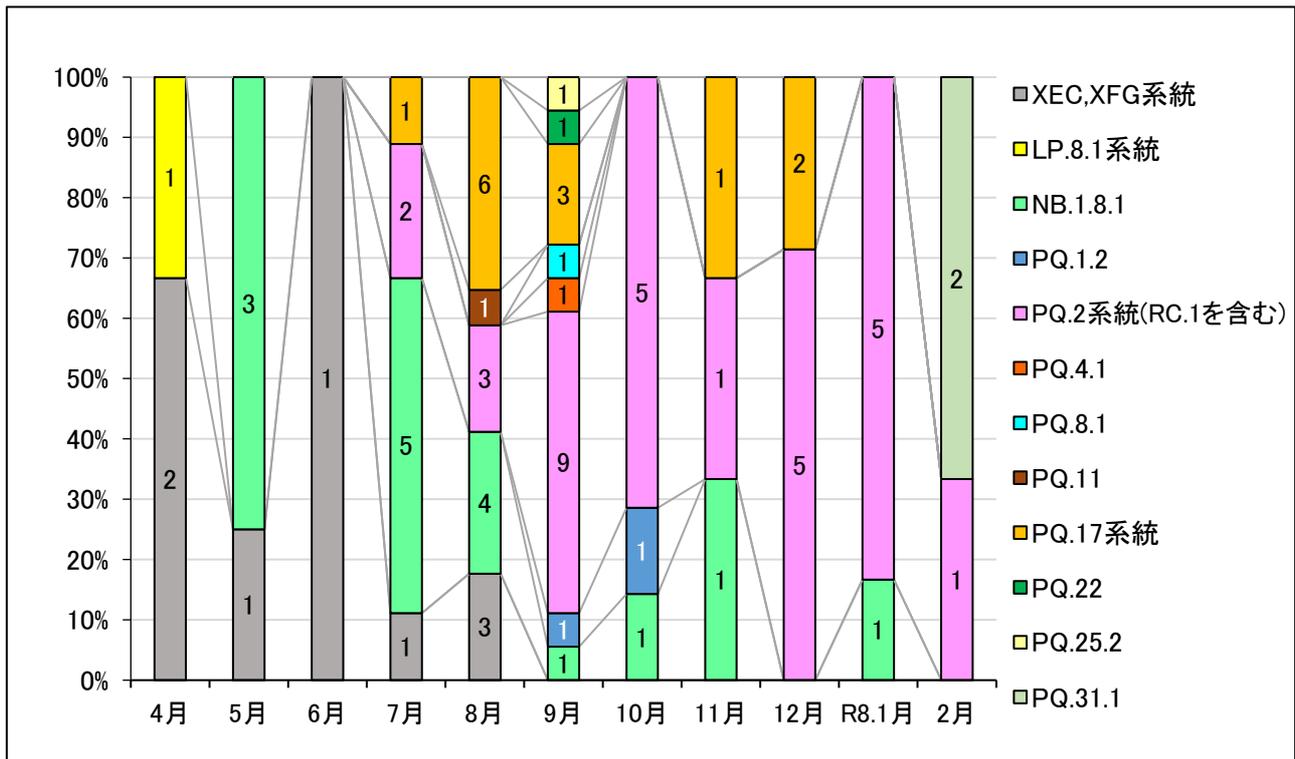
インフルエンザ A 型 2 件はすべて H3 型であった。インフルエンザ B 型 2 件はすべてビクトリア系統であった。

SARS-CoV-2 の系統は表 2 及び図 2 に示すとおり、RC. 1 が 5 件、NB. 1. 8. 1 が 1 件、PQ. 31. 1 が 2 件であった。国立感染症研究所が公開している全国のゲノムサーベイランスによる系統別検出状況でも、NB. 1. 8. 1 系統と、NB. 1. 8. 1 系統の下位系統が依然大多数を占めている。

表 2. SARS-CoV-2 ゲノム解析結果（令和 8 年 2 月検出分）

検体採取年月日	年齢	型別
R8. 1. 16	10 歳未満	RC. 1
R8. 1. 19	60 代	NB. 1. 8. 1
R8. 1. 23	40 代	RC. 1
R8. 1. 27	80 歳以上	RC. 1
R8. 1. 29	10 歳未満	RC. 1
R8. 2. 10	80 歳以上	RC. 1
R8. 2. 11	80 歳以上	PQ. 31. 1
R8. 2. 15	70 代	PQ. 31. 1

図 2. 月別 SARS-CoV-2 ゲノム解析結果 (令和 7 年 4 月～令和 8 年 2 月検出分)



## 2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の 9 件について検査を行ったところ、アデノウイルス F 種 41 型が 1 件、サポウイルスが 1 件、ノロウイルス G2 が 3 件検出された。F 種 41 型は感染性胃腸炎の原因となるウイルスである。

## 3 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

臨床診断名が A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の 7 件について検査を行ったところ、A 群溶血性レンサ球菌が 5 件 (T 型別 3 型 : 2 件、T 型別 4 型 : 3 件) 分離された。3 型、4 型は咽頭炎で多くみられる型である。

## 4 RSウイルス感染症

臨床診断名が RS ウイルス感染症の 7 件について検査を行ったところ、A 型が 4 件、B 型が 4 件検出された。そのうち 1 検体からは A 型、B 型両方が検出された。

## 5 無菌性髄膜炎

臨床診断名が無菌性髄膜炎の 1 件について検査を行ったところ、エンテロウイルス、アデノウイルス、ムンプスウイルス、ヘルペスウイルスのいずれのウイルスも検出されなかった。

## 6 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の 1 件について検査を行ったところ、アデノウイルスは検出されなかった。

